

2019 年度 1 月 定例観察会報告書

日 時	2020 年 1 月 5 日(日) 10:00~12:20	作 成;2020 年 1 月 5 日			
探 鳥 地	甲子園浜	記 録:樋 口 和久			
参加人数	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">在校生 1 年~3 年 24 名</td> <td style="width: 30%;">顧 問:2 名 特別相談役:1 名 相 談 役:1 名</td> <td style="width: 40%;">総計:28 名</td> </tr> </table>	在校生 1 年~3 年 24 名	顧 問:2 名 特別相談役:1 名 相 談 役:1 名	総計:28 名	天 候:晴れ時々曇り
在校生 1 年~3 年 24 名	顧 問:2 名 特別相談役:1 名 相 談 役:1 名	総計:28 名			
観察コース	西宮市甲子園浜自然環境センター3 階観察室 ⇒ 海岸線に下りての観察⇒ 徒歩による防潮堤に沿って鳴尾川河口までの往復⇒近くの休憩所で鳥合わせ・昼食(解散)				
観察概要	<p>阪神甲子園駅東口から西宮市甲子園浜自然環境センターまで徒歩、車組と合流しセンター3階の観察室から観察が始まった。</p> <p>その場で今、クロガモとビロードキンクロが入っているとの職員さんからの情報で皆各自持参の双眼鏡、備え付けのスコップで探し始めた。やはり珍しい水鳥が入っていると海岸線にもマニアが超望遠レンズを肩にいそいそと移動していました。雄雌のクロガモを発見出来たのでビロードキンクロを探しに防潮堤沿いに沖の杭に留っているミサゴをスコップで観察しながら鳴尾川河口まで探鳥を続けました。河口手前で写真家の情報でビロードキンクロを発見してスコップでキャッチできたがお眠り中みたいでハッキリ確認は出来ずでした。河口にも多くの水鳥がおり、砂浜で規則正しく並び休憩しているホシハジロ、コガモを見ながらUターンしました。</p> <p>帰り道では山側で浄水場の水槽のコンクリートの上で休憩している水鳥の群れや、シジュウカラ、ジョウビタキ、ツグミと言った野鳥も観察出来、多くの種類の野鳥を観察しながら帰り道を急ぎました。</p> <p>観察できた鳥たち</p> <p>見 た アオサギ、イソシギ、イソヒヨドリ、オオバン、オナガガモ、カワウ、キンクロハジロ、コガモ、コサギ、シジュウカラ、ジョウビタキ、スズガモ、スズメ、セグロカモメ、ツグミ、トビ、ハクセキレイ、ハシビロガモ、ハシボソカラス、ハマシギ、ヒドリガモ、ヒヨドリ、ホシハジロ、マガモ、ミサゴ、メジロ、ユリカモメ、オカヨシガモ、クロガモ、カンムリカイツブリ、ビロードキンクロ、カワラバト 計 32 種 (探鳥確認メモ 秋~冬)</p>				
感 想	<p>観察室に入っすぐの、珍しい水鳥が入っていると言った情報で、ふと窓の外を見るとバス一カ砲を担いでいるような写真家が列を作りレンズの向いている方向が、クロガモ、ビロードキンクロの居る方向だと察しがつく程であり、他の水鳥の存在が薄れてしまいましたが多くの種類の水鳥が観察できる素晴らしい甲子園浜です。やはり水鳥は動きがゆっくりで個々の美しさを十分観察ができるので楽しくなってしまいます。顧問、相談役がおられなければ 32 種類もの鳥合わせは出来なかったでしょう。水鳥の特徴を顧問、相談役から伺いながら観察ができ有意義な探鳥会になりました。</p>				



少し遠くでした。
仲よしクロガモ雄雌



ミサゴはしょんぼり